第12回勉強会・おいしい水の願い！

『上田は自分たちの水道でやって行こう』

『上田市の水道は将来も自立してやって行ける事と 参加すると大きな問題を抱える事が分かった、だから上田～長野広域には加わらない方が良い！』

‘上田長野地域広域水道事業’になってしまうと自分達の水道でなくなり、 他地域の為の工事費や事業費を押し付けられ水道代も高くなる。 真剣に考えて、すぐに行動を起こさないと間に合わなくなる。 私達の上田は日本国創始の奈良時代、信濃の国の政治と文化の府として創建された信濃国分寺が1300年の法灯を今に伝える地。以来、信州の鎌倉といわれ、戦国時代の雄・真田が上田城を構え、江戸末期には上田藩主が国際化国策を唱え、絹産業を発展させ後の電子情報産業へ繋げて来た重要な地方都市。 国土の中心に位置し交通の要所でもあり、常に国の先進を果たしてきたが、その故は、神川、依田川そして合わせて流れる千曲川の水を知恵良く使いこなして来たからなのです。 その上田を衰退させてはいけない。 その為に わたしたちの命や暮らし、産業を支える おいしい水の水道を守らなければいけない。 地球温暖化の影響が深刻になり、人口減少など環境や社会情勢の変化に対応するにも、先ずは‘水’の裁量権（安全性や経済性を確保し使い方を自分達で決める事）を持ち続ける意志を示しましょう。

勉強会次第　　**令和8年9月5日（土）10：00 ～ 12：00**

私たちの調べで分かった事を説明するので、皆で大いにディスカッションしましょう

1．パネルディスカッション　（総合司会　小山正樹）　10：00開始
- 調べた結果の資料説明　（川田富夫　事務局長）　20分
- 資料から考えるべき事　（小山田秀士　元上田市上下水道事業管理者）　20分
- 水道専門家からの見解　（中本信忠　信州大学名誉教授）　20分

2．オープンディスカッション　（会場の皆様と）　11：10～12：00

・おいしい水を広める市民の会・